

京田辺市複合型公共施設整備 基本計画検討懇話会 (第2回)

令和7(2025)年9月26日(金)

1

議題

施設でのアクティビティと施設規模

2

これまでの検討状況

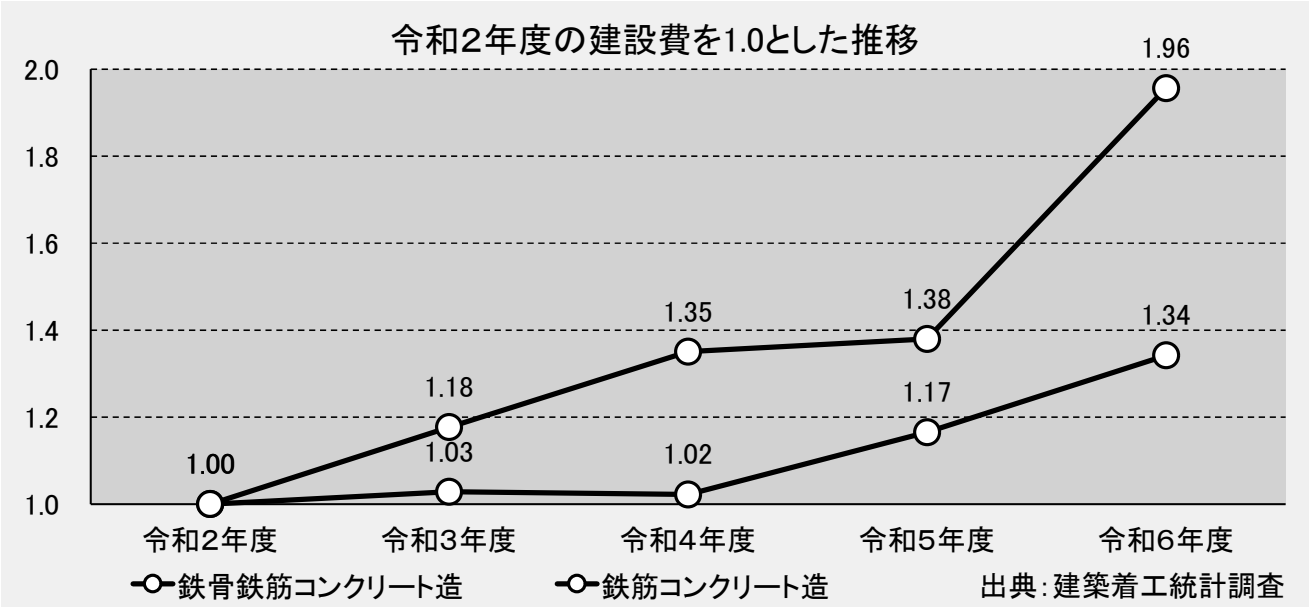
3

基本構想をベースとしたこれまでの検討案

項目	面積	備考
文化ホール	約2,200㎡	500席程度 ※前舞台(「どんちょう」より客席寄りの舞台)を使用した場合も400席を確保
公民館機能	約900㎡	現中央公民館と現中央図書館の会議室等諸室の合計:約850㎡
図書館機能	約2,500㎡	現中央図書館:約1,630㎡
共用機能	約2,600㎡	ロビー(ひろば)、階段、廊下、トイレ等
併設機能	約300㎡	こども支援機能、市民交流促進機能
管理機能	約1,500㎡	事務所、機械室等
延床面積	約10,000㎡	

4

近年の建設費の推移



建設費縮減のため施設規模の検討が必要

単純な施設規模の縮小ではなく、これまでの市民参画により積み上げてきた「やりたいこと(アクティビティ)」が実現できる施設規模を確保する

5

施設で想定されるアクティビティの整理

市民意見聴取の結果をふまえ、施設で想定されるアクティビティを抽出した。

アクティビティ	具体的な内容
観る・見る・聴く	コンサート、ライブ、ミュージカル、映画上映、展示
体験・参加する	発表会、各種講座、講演会、パーティ、ワークショップ、活動練習、マルシェ・フェスイベント、伝統文化、市民参加プログラム
つくる	陶芸、3Dプリンター、各種造形・工作、本格的な商品開発(飲食)
くつろぐ・集う	ふらっと自由に立ち寄る、夜も開いている、幅広い年代・多様な人との交流、ひとりでも・みんなでもくつろげる
知る・学ぶ・調べる	勉強、リモートワーク、京田辺を知る、出前講座
読む	紙の本を読む、読み聞かせ
相談する	子育て相談、カウンセリング
食べる	京田辺の野菜を食べる、こども・みんなの食堂
遊ぶ	落書き、ゲームする、こどもが自由に過ごせる、ひみつ基地
体を動かす	ミニ運動会、卓球、ボルダリング、健康に関する情報交流
働く	こどもが店をだす、就労支援、チャレンジショップ

6

施設で想定されるアクティビティの整理

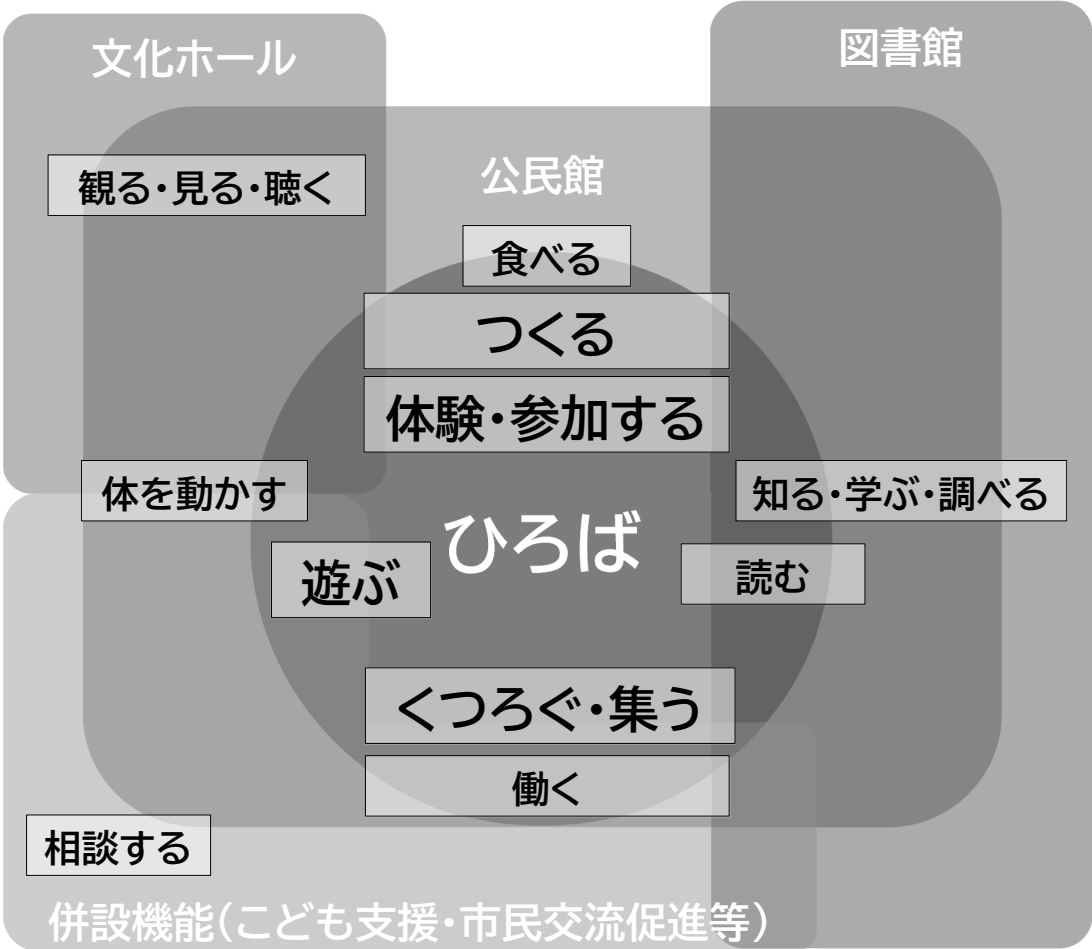
さらに、アクティビティが主に施設機能のどこで発生するかを整理した。

施設機能 アクティビティ	ホール	多目的室	創造支援 アトリエ	創造支援 練習	和室	調理室	図書館	併設機能 子育て支援 市民交流促進	ひろば
観る・見る・聴く	◎	○							○
体験・参加する	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		○
つくる	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎
くつろぐ・集う							○	○	◎
知る・学ぶ・調べる		◎	○	○	○	○	◎		○
読む							◎		○
相談する								◎	
食べる						○			◎
遊ぶ								◎	◎
体を動かす	○	○							◎
働く							○	○	○

7

施設で想定されるアクティビティの整理

施設機能と
アクティビティ
関連図



8

文化ホール機能

9

これまでの検討状況（文化ホール機能）

	内容
客席	・前舞台を使っても400席で利用できるように想定し、 500席程度を確保
	・親子等で鑑賞できる空間の確保や、車いす席を複数箇所に設置するなど、 多様なニーズに対応する客席を設置
	・実演芸術だけでなくさまざまな利用ニーズが増えることを見越して、客席は可動式とし、 平土間形式へと可変する空間とする
舞台	・多様な舞台芸術等に対応する プロセニウム形式とする
	・主舞台(演技エリア)は、 6間角(約10m×約12m)程度とする
	・オーケストラや吹奏楽等の生音演奏に適した空間となるよう、 音響反射板を設置 ・音響反射板内側の舞台の広さは、吹奏楽やオーケストラの使用を考慮
ホワイエ	・来場者が開演前、幕間に居心地よく過ごせる空間
	・ホールでのイベントがない時には共用部と一体となった 開かれた空間として利用
	・客用トイレは十分な数の便器を設け、車いすや乳幼児連れに対応したトイレの設置等、多様なニーズに配慮
バックヤード	・ 楽屋は必要最低限の諸室数とし、大人数での利用時には公民館機能の会議室等を楽屋として兼用
	・バックヤードエリアは舞台へアクセスしやすいことや、関係者以外がアクセスできないような動線・ゾーニングに考慮した位置に設置
	・出演者がくつろぐためのラウンジ・給湯室や出演者用のトイレ・シャワールームを設置

検討事項（文化ホール機能）

客席数

主な使い方を踏まえて客席数を決定

- ・ 市民活動の発表会
- ・ 小編成のクラシックコンサート・リサイタル
- ・ 文化祭
- ・ 社会教育事業

ホワイエ

ホワイエは、文化ホールが使用されていない時は利用されないため、「重ね使い」を検討

11

文化ホールの使い方と客席数の関係

客席数と演目特性

基本構想

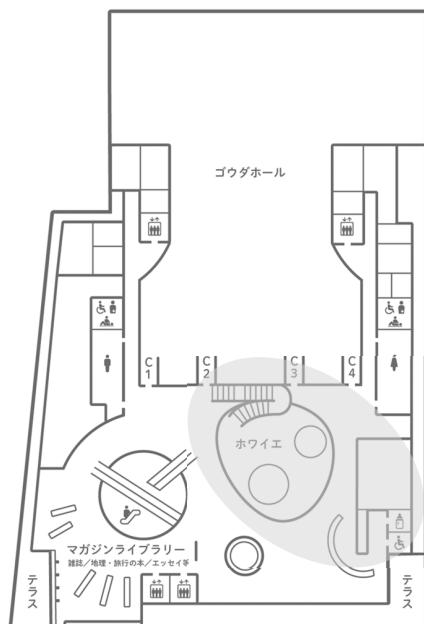
	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1600	
視覚上の識別度	舞台に立つ主演者非常に細かい表情まで識別可能			細かい表情や細かな動作が識別できる			身振り手振りによる大きな表現が識別できる					
聴覚上の識別度	ささやきによる伝達可能 演劇的語り言葉による伝達可能					歌等による大きな声の発声法が必要						
客席階数	1階で充分対応できる			1～2階層				2～3階層				
規模別の 演目適正				創作オペラ・オペレッタ・室内オペラ				グランドオペラ				
				モダンバレエ・ダンス・舞踊				ミュージカル				
				演劇				商業演劇				
				パフォーマンス				歌舞伎				
				寄席能 日本舞踊 文楽				歌				
				室内楽・ソロ				オーケストラ				
				ライブコンサート				ポピュラー音楽				
使い方の想定 (基本構想より)	公民館機能でカバー			市民活動の発表会			オケ・吹奏楽の演奏会				興行公演	
	ワークショップ			社会教育事業			近隣自治体ホールの利用				大阪・京都等へのアクセスが良好なためプロモーターニーズは低	
	日常練習			小規模な発表会等								
				文化祭								
				成人式								
				主な使い方								
市民文化活動団体が利用する 近隣の主なホール				★京田辺市商工会館キララホール(180席・市内)								
				★秋篠音楽堂(306席・奈良市)								
				★文化パルク城陽ふれあいホール(324席～400席・城陽市)								
				★京都市呉竹文化センター(600席・京都市)								

12

ホワイエの重ね使いの事例

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

- ・ 普段は、共用部のフリースペースとして利用可能
- ・ 文化ホールでの公演時には、共用部をカーテンで仕切ってホワイエとして利用



普段の状況（共用部のフリースペース）



ホワイエとしての利用状況（カーテンの向こう側）

13

公民館機能

これまでの検討状況（公民館機能）

	内容
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模なコンサートや発表会等、幅広い利用に対応 ・ホール主舞台同等サイズを確保(ホール公演時のリハーサル利用を想定) ・共用部(ひろば機能)との一体利用が可能な配置・設え
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・間仕切りによる規模の変更(20名以下での利用に適した部屋を複数確保) ・練習室やアトリエとして利用できる設え ・併設する行政機能の会議室としても利用
練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽(生音・電気音響)・ダンス等の実演芸術 ・利用人数に対応した複数の部屋を設置
アトリエ	<ul style="list-style-type: none"> ・美術・工芸・陶芸・書道・生け花などの活動に対応 ・水の使用が可能な設え
調理室	<ul style="list-style-type: none"> ・調理台5台程度を設置 ・共用部(ひろば機能)や屋外空間との一体利用が可能な配置・設え
和室	<ul style="list-style-type: none"> ・茶室利用できる設備
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な展示が簡易に可能なギャラリー ・共用部の壁面の一部を活用
郷土資料展示	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部の一部で展示

15

検討事項（公民館機能）

多目的室の重ね使い

- ・文化ホールのリハーサル利用への対応のため、主舞台と同等規模
- ・練習利用の他、小規模なコンサートや発表会、ダンス、ギャラリー等、多様な利用を想定

会議室・創作活動室

- ・会議室は、利用人数に応じた部屋の分割
- ・視聴覚機材、防音設備、水回り、鏡・手摺り等、多様な文化活動に対応した設備
- ・創作活動室の会議室利用
- ・併設する行政機能の会議室や、自習・グループ学習への活用

ギャラリー・郷土資料展示

- ・多目的室での絵画や絵画等の展示
- ・共用部（ロビー）の一角や壁面を活用した展示

16